

朝起きたら行きたくなる楽しい学校を
～令和7年度を迎えて～

理事長 岡村 幸保

花が咲き草木が芽生え、新年度が始まりました。子どもも大人も、新たな一步を踏み出す時です。

教育委員として活動を始めた私が、最初に衝撃だったことがあります。それは、立川市における不登校児童・生徒の数が、全国平均と比べて多いという現実でした。

調査によると、不登校の背景にある相談内容の上位は、一番は「不安、抑うつ」、二番は「学校生活に対してやる気がでない」、三番は「生活リズムの不調」です。「朝起きたら、行きたくなる学校」「付き合う大人の確保」が必要です。「学校学級以外の楽しい居場所」も必要です。私自身も、別室支援員として子どもたちと関わってきました。活動を自分で決めさせると子どもたちは生き生きしました。朝から給食の話題をすると目が輝き動き始めてくれました。この辺に対応のヒントがあると思います。

立川市教育委員会では、巡回教員や支援員の増員、校内別室設置など、支援体制の強化を進めています。また、全国学力テストの平均点を改善の指標にしないことも検討されています。これにより、過度の競争や詰込みから解放され、楽しい授業が増えることが期待されます。

さらに、月45時間以上の超過勤務の教員が64%に達していました。0%を目標に、働き方改革にも取り組んでいます。先生が元気でなければ、行き届いた対応はできません。

保護者の方々も、さまざまな困難を抱えています。その支援として、小中学校の給食の無償化や、学童の夏休みなどでの給食手配も実施する予定です。すでに給食センターで、不登校児童への給食提供も始まっています。

不登校問題の改善の取り組みは、立川市全体の教育の質を向上させることにつながります。

今年度から立川市の長期総合計画の実施が始まります。子育て・教育が最重要課題となっています。私たち立川教育振興会は、何をどのように貢献できるか、考え、行動していきたいと思います。

まずは、豊泉喜一先生の「歴史散歩」、そして夏休みの「立川科学のひろば」からスタート！

立川教育振興会

面白いコト見つけよう！

東京都立川市で活動する様々な教育団体・事業を応援しています。

教育振興会ホームページをご覧ください

最新のイベント情報やおしらせ
を掲載しています。「立川教育振興会」で検索する
か右記のQRコードを読み取る
とご覧いただけます。

とても晴れた日曜日の朝、武蔵砂川駅に集合し、「砂川はここから始まった！砂川発祥の地を歩く」というテーマで歴史散歩を行いました。

案内人は立川民俗の会会長である豊泉喜一さん。ご家族連れで、小学生のお子さんも参加され、楽しいひとときとなりました。

散歩コース

武蔵砂川駅 → 残堀川と旧水路跡 → 玉川上水伏せ越水路
→ 巴河岸跡 → 金毘羅山（邨田丹稜旧宅）
→ 砂川分水・砂川名主屋敷 → 流泉寺
→ まいまいず井戸跡 → 庚申塔 → 阿豆佐味天神社
→ 旧砂川町役場跡 → 基地拡張反対記念碑
→ 基地拡張反対団結横町 → 堂山共同墓地（柏町）



豊泉喜一さん「砂川教育発祥の地」にて



【金毘羅山】富士山信仰の象徴として築かれた砂川唯一の山。山頂には富士浅間神社、中腹には秋葉神社が祀られている。



【阿豆佐味天神社】水天宮や猫返し神社として人気の神社。四人の唐子が水盤を担ぐ珍しいデザインの手水鉢は必見。



【平和の礎】砂川闘争記念碑。基地拡張反対闘争の跡地に建立。



【見影橋】砂川村の名主砂川家の当主が橋の上から水田を眺めていたため、旦那橋と呼ばれていた木造の橋は、昭和初期に御影石で作り換えられ、名称も変更された。

玉川上水はグランド面より高い位置にあり、グランドは昭和30年頃まで水田だった。



この土地を開拓し、用水を得て田畑にし、いかにして守り続けてきたかを、残堀川、玉川上水、五日市街道に沿って「砂川」の由来と共に深く学べた1日でした。
(参加者 坂本陽子さんより)



国際製菓専門学校にて「親子クリスマスケーキ教室」を開催しました。

申込開始すぐに満員御礼となる人気のイベントとなりました。

とても可愛らしいケーキが出来上がり、楽しそうな歓声が聞こえていました。



活動報告 3 「宇宙エレベーターロボット競技会立川大会」 (実施日：令和 6 年12月14日)

立川市立小学校科学教育センターとの共催で、第 5 回宇宙エレベーターロボット競技会立川大会を開催しました。会場は第八小学校体育館。

科学センターのロボットプログラミングコースから12チーム、新生小学校のプログラミングクラブから2チーム、合計41名が出場しました。競技内容は、地上（アースポート）から宇宙ステーションへピンポン球を運び、再び地上へ戻すというもの。制限時間は5分間で、時間内にできるだけ多く、安全に運ぶことを目指します。子どもたちは緊張しながらも真剣な表情でロボットを操作し、うまく動作すると歓声が上がりました。

表彰式は株式会社 立飛ホールディングスの企業キャラクター、たっぴくん・たっぴちゃんが見守る中、和やかに行われました。



卒業生OBとして大会を支えてくれた沼田真将さん（国立東京工業高等専門学校 4 年）より

「今回のボランティア活動では、小学生にプログラミングを教える中で、かつての自分と同じように夢中になってロボットを作る子どもたちの姿を目の当たりにしました。その姿を見て、自分自身が宇宙エレベーターに魅了された当時の気持ちを思い出し、改めてこの分野の研究に取り組みたいという思いを強くしました。」

教育を未来へつなぐ！ご寄付のお願い

立川教育振興会は、歴史・科学・芸術といった多様な分野の教育を通じて、次世代の創造力と好奇心を育む活動に取り組んでいます。

子どもたちの「知りたい！」という気持ちに火をつけ、誰もが学び続けられる社会を目指して、講座やワークショップ、展示や研究支援などを行っています。

私たちの活動にご賛同いただける方からのご寄付を、以下の口座にて承っております。

皆さまのあたたかいご支援が、子どもたちの未来を支える力になります。

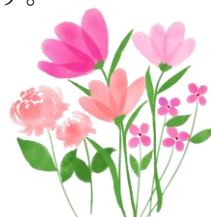
どうぞよろしくお願いいたします。

銀行名：多摩信用金庫 本店（店番号：001）

口座種別：普通

口座番号：5306062

口座名義：立川教育振興会 理事 岡村幸保



2025年度イベント予定

春

立川の野仏を訪ねて（１）幸町～若葉町

野仏（のぼとけ）とは、屋外に祀られている仏像や石仏です。道端などにひっそりと佇んでいることが多く、日常の通り道なのに気が付かないことも…。今回の歴史散歩では、そんな野仏に目を向けながら、地域の歴史や人々の想いに触れてみませんか？

お地蔵様や野仏が作られた由来や歴史をご案内します。ぜひお気軽にご参加ください。

日時 令和7年5月18日（日）午後1時～午後4時
集合 多摩モノレール「砂川七番」駅
案内人 立川民俗の会 会長 豊泉喜一さん
持ち物 飲み物、歩きやすい靴でお越しください
参加費 無料
申込み 不要 当日、午後1時までに集合場所にお越しください
※悪天で中止の際はホームページでお知らせします。



コース 砂川七番駅→砂川小学校（現第八小）跡地碑→立川市内最大馬頭観世音→古民家園小林家住宅見学→子育て地蔵・庚申塔→廻国供養塔→出羽三山供養塔・地蔵尊→馬頭観世音→名号塔→弁天社・石橋供養塔→第八小学校二宮金次郎像（第八小解散）

夏

立川科学のひろば

子どもたちに科学の楽しさや素晴らしさを実験や体験を通して伝えつづけている立川の夏の恒例行事科学のひろば。今年は以下の日程で開催予定です。開催場所や申込等の詳細は6月中旬に立川教育振興会のホームページに掲載いたします。

開催日程 7月19日（土）、26日（土）、27日（日）、29日（火）

「化石や鉱石」「ラジオをつくろう」「宇宙エレベーターロボット」「科学工作」その他、楽しい科学講座を企画しています。

秋・冬

大人の科学講座「元素周期表は何を表しているのか」

日本で発見された113番元素のお話と周期表の立体モデルキットの組み立てを行います。申込・詳細は6月下旬に教育振興会のホームページに掲載します。

日時 9月27日（土）9：30～11：30
会場 立川市幸学習館
講師 片江安巳先生（日本化学会フェロー）

- ◆11月...立川の野仏を訪ねて（2）
- ◆12月...親子で作るクリスマスケーキ

ニュースレター秋号にて
お知らせします

編集後記

子どもも大人も、地域の中で共に学び、楽しめる場が少しずつ広がっていることを今回の会報を通じて感じていただけたなら嬉しいです。これからも立川の「学びの種まき」を、皆さまと一緒に続けていきたいと思います。（青谷典子）

